

電波資源拡大のための研究開発 平成20年度公募案件基本計画書の評価

案件名	実施期間	評価会での主なコメント
異なる大きさのセルが混在する環境下における複数基地局間協調制御技術の研究開発	H20～23	<ul style="list-style-type: none"> 異なる大きさのセルが混在する環境下において、セル全体の運用が可能となる技術を目指すという目的は理解できる。 解決すべき問題点を明確にすること。 数値目標をより定量的に示すとともに、それらを達成するための手法を具体的に明記すること。
異種無線動的利用ネットワーク技術の研究開発	H20～23	<ul style="list-style-type: none"> 無線リソースの有効利用には有効だと思うが、他方、異種無線システムを統合する際に必要となるオーバーヘッドの量をきちんと見積もること。 既存異種無線方式と新規異種無線方式のどちらの方式を対象とした技術なのかを明確にすること。
同一周波数帯における複数無線システム間無線リソース制御技術	H20～23	<ul style="list-style-type: none"> 次世代無線通信システムにおいて必要不可欠な技術になると思われるので、特許等も成果の目標として重点をおく必要がある。 都市部と地方では電波の利用状況が異なるため、地域ごとに実験やシミュレーションを実施し、正確な情報を収集するようにすること。
異種事業者間無線ネットワーク協調制御技術の研究開発	H20～23	<ul style="list-style-type: none"> 事業者非依存型のネットワークマネジメントにおいて、制御主体は端末主導型とネットワーク主導型のどちらになるのかを明確にすること。 異種事業者間のセキュリティに関する研究開発の実施内容を明確にすること。
異種事業者・異種無線システム対応端末技術の研究開発	H20～23	<ul style="list-style-type: none"> ネットワークの集中管理から分散管理に移行することによるシステム効率の低下、脆弱性に関する評価を行うべき。 既存のコグニティブ無線端末機等との違いを明確にした上で、問題点及びそれらを解決するための手法を明確にすること。 数値目標をより定量的に示すこと。
安心・安全イノベーションを創造する地上／衛星共用携帯電話システム技術の研究開発	H20～24	<ul style="list-style-type: none"> 高出力増幅器のスペックについてもふれた方がよい。 具体的なシステムを想定した定量的な目標設定が重要である。
船舶用レーダー通信技術の研究開発	H20～22	<ul style="list-style-type: none"> 携帯電話等を利用するのではなく、新たな通信手段を開発せざるを得ない理由を明確にすること。 船舶上に新たな通信設備を設置するより、本技術による装置が低コストで実現できる可能性を示すべき。 信号成形技術の到達目標を明確にすること。
広帯域変調波の高感度測定技術の研究開発	H20～22	<ul style="list-style-type: none"> 研究開発課題を明確化し、解決策や得られる効果について具体的に記載すべき。 研究開発実施期間を踏まえると目標設定はかなり高いと思えるが、妥当な設定といえるだろう。
統計的手法による放射電力測定技術の研究開発	H20～22	<ul style="list-style-type: none"> 電波暗室内の測定にとどまらず、実フィールドにおける測定も重要となる。 統計的手法により放射電力を測定しようとするこの目的が明確に記載されている。 長時間積分処理以外の手法による検討も期待したい。
回転楕円鏡を用いた高感度放射電力測定技術の研究開発	H20～22	<ul style="list-style-type: none"> 回転楕円鏡を用いる理由を明確にし、他手法との比較についても検討すること。 設定した到達目標値の根拠及びその意義について説明が必要である。
測定空間における散乱波の影響を抑制する技術の研究開発	H20～22	<ul style="list-style-type: none"> アイデアが大いに生きる技術なので、特許出願等も成果目標として提案させることが大事であろう。 既存の測定技術との違いを明確にすること。
広帯域・大型アンテナ及びスペクトラムアナライザの高安定化技術の研究開発	H20～23	<ul style="list-style-type: none"> パラボラアンテナ等の特性はマイクロ波・ミリ波帯では比較的安定しているので、更なる高安定化技術を確立する意義を明確にすること。 目標値を定める際の基準について明記すること。